



鏡石町長 木賊政雄

## 「やすらぎ」と「うるおい」のまちづくり

町民の皆様 新年あけましておめでとございます。平成21年の輝かし新年をご家族お揃いで迎えられたこと心からお祝いを申し上げます。昨年は、北京オリンピックでの日本選手の活躍に盛り上がりましたが、一方で中国産輸入食品による中毒の発覚、事故米の転売問題など、「食の安全」が大きく揺らぎ、さらには、中国四川省で発生した大地震をはじめ、岩手宮城内陸地震、そしてゲリラ豪雨と大規模な自然災害が数多く発生した年でした。

また、アメリカのサブプライムローン問題に発した世界的な金融危機の深刻化や世界景気の一層の下振れ懸念、株式・為替市場の大幅な変動などから、雇用情勢などを含め、景気の状態がさらに厳しいものと危惧されております。国においては、追加経済対策を発表しましたが、生活者間の格差、都市と地方の格差など、「格差問題」に対する対応をはじめとした、国民生活と地方に元気が戻ってくるような政策を早急に進められよう望むものであります。

こうしたなか、町では第4次総合計画の基本テーマである「共に生き 共につくる 牧場の朝のまち 鏡石」の具現化に向け、5つの柱を基軸にまちづくりに取り組んで参る所存であります。

特に、第一小学校の耐震診断結果に基づき、「学校耐震改修事業」に着手し、「鏡石スマートIC」は、利用台数が1カ月約1万5千台から1万7千台を超え順調に推移しておりますので、恒久化に向けて各種事業を展開し、安全で安心な水の安定供給体制を図るため、「上水道第5次拡張事業」に取り組んで参ります。

また、継続事業についても、「国道4号4車線整備促進事業」「成田地区県道ほ場整備事業」「健康増進事業」「子育て支援対策」「生涯学習事業」などを着実に推進して参ります。

今年も厳しい財政状況にありますが、計画的な財政運営を基調に、町の特性を生かしながら、「やすらぎ」と「うるおい」が実感できる暖かみのある行政運営をして参る所存でありますので、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。今年のごあいさつといたします。



鏡石町議会議長 仲沼義春

## やすらぎとうるおいの町に向けて

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。町民の皆様には、ご健勝にて新年をお迎えのことと、お喜びを申し上げます。また、常日頃、議会活動に対しまして、多大なご支援、ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。さて、刻一刻と変化し続ける環境の中で、私たちはともすれば目先のことにとらわれがちですが、新年を迎えるこの区切りの時に、じっくりと自分を振り返ったり、周囲の状況にも目を配りながら、新年の計画を立ててみることは大切なことではないでしょうか。

昨年を振り返ってみますと、内外ともに多難な年でありました。アメリカのサブプライムローン問題を始めたこと、世界的金融危機と先行きが不透明な経済状況・不安定な国政等が挙げられる中、都市と地方の「格差問題」への対応が強く求められております。鏡石町にとりましても、4号線の拡幅事業やスマートIC等の生活基盤の拡充が進む中において、道路財源や地方交付税の問題は直接に、町の事業を左右する大きな問題でもありますので、町民皆様の声を的確に町政に反映させながら、しいては国政に進言していくことが私どもの責務であると考えております。

環境問題や福祉対策・産業振興や教育対策などのあらゆる分野において、地方分権推進と共に、これから推進し克服すべき課題は山積しております。

国の総合経済対策の中で発表された、「定額給付金」については、自治体判断に委ねられたことが、現在の大きな話題でもありますが、共に生き共につくる「やすらぎ」と「うるおい」を育む牧場の朝の町「かがみいし」へのなお一層の実現に向けて、皆様の負託とご期待に添うべく、努力してまいりますので、引き続きのご支援を、今年もよろしくお願ひ申し上げます。

結びに、この一年が皆様にとりまして、幸せ多い年でありませうお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。